

平成 27 年 5 月 26 日  
学校法人 大乘淑徳学園

## 平成 26 年度の資金運用結果について

平成 26 年度は、アベノミクスの大膽な金融緩和政策により一層低金利が進み、また、為替相場はこの 1 年で 20 円近く円安となりました。

本学園では、上記の状況の下、平成 26 年度から資金運用委員会・資金運用小委員会を組織し、新たに資金運用規程を制定して資金運用に取り組みました。

以下に平成 26 年度の資金運用結果について簡単にご報告いたします。

### 1 預金（期末残高 173 億円）

定期預金については、金利低下が進んだことにより昨年度を下回った結果となり、運用益は 31,323 千円（利回り約 0.18%）となりました。

2 月・3 月に満期を迎えた定期預金などについて、銀行の見直しを行いました。健全経営で一定の預金量を有する金融機関のなかから、利回りで有利な金融機関と新たに預金取引を開始しました。

### 2 公債（期末残高 7 億円）

公債については、低金利状態が継続したため新規に購入した債券はなく、前年度までに保有した財投機関債や地方債で運用し、運用益は 2,906 千円（利回り約 0.42%）となりました。

### 3 社債（期末残高 23 億円）

社債については、将来の金利上昇局面を考慮しつつ慎重に銘柄選択を行い 7 億円を新規購入しましたが、2 銘柄 8 億円が満期償還となり、運用益は 20,216 千円（利回り約 0.88%）となりました。

### 4 金融債（期末残高 15 億円）

金融債については、大手金融機関の債券 5 億円を新規購入し、運用益は 11,379 千円（利回り約 0.76%）となりました。

### 5 その他（期末残高 27 億円）

為替系仕組債については、為替の円安局面により、運用益が上昇しました。為替等の動向に注視し、管理していきます。

また、低金利のなか新たに安全で一定のクーポン収入が期待できるクレジットリンク債と外債を新規に 4 銘柄 14 億円購入しました。

その結果、運用益は 20,768 千円（利回り約 0.77%）となりました。

以 上